

側溝蓋撤去再設置等業務委託仕様書

（総則）

第1条 米沢市（以下『発注者』という。）及び受注業者（以下『受注者』という。）は契約書記載の業務委託契約に関しては契約書の定めるもののほか、この側溝蓋撤去再設置等業務委託仕様書（以下『仕様書』という。）に基づいて履行しなければならない。

2 受注者は、該当業務委託に関する諸法令を遵守し、業務委託の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の責任において行わなければならない。

（業務委託の場所）

第2条 発注者が受注者に委託する場所については次のとおりとする。

国道121号、県道綱木米沢停車場線～県道板谷米沢停車場線（旧国道121号）～（米沢駅）～主要地方道米沢高畠線及び市道米沢駅東線より南側で、最上川（松川）より東側の地域とし、『1工区』とする。

（業務内容について）

第3条 発注者が受注者に委託する業務は次のとおりとする。

- | | |
|------------------------|---------|
| (1) 側溝清掃に伴う蓋の撤去及び再設置業務 | 3,770 枚 |
| ・ 40kg ～ 80kg | 4,400 枚 |
| ・ 81kg ～ 120kg | 330 枚 |
| (2) 集水桝等の清掃業務 | 5 箇所 |
| (3) 横断側溝等の側溝清掃業務 | 50 m |

2 受注者は、上記業務委託に変更が生じた場合は、業務委託完了前に速やかに詳細資料を添付のうえ内容変更を報告すること。

（作業時期等について）

第4条 作業時期は業務委託期間内に次により必要に応じてその都度、発注者が受注者に対して指示する。受注者は作業指示を受けた後、関係者との協議や現場確認等によって日程、作業内容詳細の調整を行ったうえで作業を実施すること。

- (1) 側溝清掃に伴う蓋の撤去及び再設置作業
 地元等により発注者に市道の蓋撤去再設置の依頼があったとき
- (2) 集水桝等及び横断側溝等の清掃作業
 清掃の必要が生じ、発注者より作業の指示があったとき

（必要経費の負担）

第5条 業務を実施するために必要な経費については、受注者が負担するものとする。

（監督職員）

第 6 条 発注者は、委託業務を実施するために、業務の指示、協議、管理等にあたる業務の監督職員を定め、通知するものとする。

- 2 受注者は、委託業務を実施するにあたり、前項の規定による発注者の定めた監督職員の指示に従わなければならない。

（現場代理人）

第 7 条 受注者は、委託業務を実施するにあたり現場代理人を定めて、発注者に通知しなければならない。

（材料支給）

第 8 条 発注者は、原材料等材料を支給が必要と判断したときは、監督職員が受注者に材料支給及び支給数量を指示し、受注者は発注者が定める支給材料支給場所から指示分を持ち出し、速やかに持ち出し材料及び数量を監督職員に報告するものとする。

- 2 支給材料の持ち出しに係る運搬費は設計変更の対象とする。

（建設副産物）

第 9 条 受注者は、建設工事に係る再資源化等に関する法律及び山形県リサイクル指針に基づき、次に掲げる項目を遵守し、資材の有効な利用の確保及び廃棄物処分の適正な処理に努めなければならない。

- 2 特定建設資材（コンクリート殻、アスファルト殻、建設発生材）が発生した場合は、再資源化施設へ搬入し、搬出完了後には必ずマニフェストの写しを提出すること。
- 3 特定建設資材が発生した場合の処分、運搬費は設計変更の対象とする。

（業務の報告）

第 10 条 受注者は、各業務が完了する度、作業内容の詳細について下記①～③の様式を作成し、業務完了後概ね 10 日以内に発注者に提出すること。

①作業実施報告書（作業箇所、作業数量等） **別紙様式のとおり**

②作業箇所の位置図（蓋の枚数等を記入し、錠口など控除した枚数が分かるように）

③作業内容の状況及び作業数量等の確認ができる状況写真

- ・作業数量の確認写真は、現場代理人が納まり数量を確認している写真とすること。
- ・作業内容の写真は、作業前、作業中、作業後の 3 種類を撮影すること。
- ・集水桝及び横断側溝等の清掃を実施した際は、堆積土砂の厚さを計測し、写真を撮影のうえ実施報告書に記載すること。

必要に応じてその他書類の提出を求める場合もある。

なお、転落防止網及び桝蓋のみ（グレーティング）の撤去再設置に関しては、監督職員と協議のうえ、別集計し報告すること。

（調査及び報告）

第 11 条 発注者は、必要があると認められるときには、受注者の業務委託について、いつでも必要な報告を求め、または調査することができる。この場合は、受注者はその調査を拒み、又は報告を怠ってはならない。

(発生土について)

第 12 条 集水枡及び横断側溝等の清掃で発生した土砂は原則自由処分とする。処分に際しては受注者の責任において適正におこなうこと。

2 発生した土砂の運搬距離は、 $L = 10 \text{ km}$ を見込んでいるが、運搬距離が設計に満たない場合は、実際の運搬距離により変更する。

ただし、設計運搬距離以上の場合には、変更はしない。